羽咋市復興実施計画
「短期」進捗状況の
事前評価について



トキPRキャラクター
のとっきー

羽咋市

羽咋市復興実施計画「短期」の進捗評価について

（１） 趣旨・目的

羽咋市では、令和６年能登半島地震からの復興に向けたまちづくりを進めるため、次のとおり復興計画等を定め、取り組みを進めています。

策定年月日	計画名等
令和６年　８月	羽咋市復興計画
令和６年１２月	羽咋市復興実施計画

（※左記の他、作成を希望した７町会で復興個別計画策定）

「復興計画」及び「復興実施計画」では、令和12年度末までの７年間を全体計画期間とし、復興目標時期を「短期」「中期」「長期」の３つの段階に区分しています。

今回、令和７年度末で「**短期**」の２年間が経過したことから、**「中期」以降の取り組みの実効性を高めていくために、事業の達成状況や成果について評価を行う**ものです。

＜計画の期間＞

計画の期間を大きく３段階に分けたタイムライン

	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
復興計画	短期（復旧段階）		中期（再生段階）		長期（発展段階）		
復興実施計画	短期（復旧段階）		中期（再生段階）		長期（発展段階）		

- **短期**（復旧段階）：令和６年度～令和７年度
  住宅や生活基盤・インフラ等の復旧、再生や発展の準備
- **中期**（再生段階）：令和８年度～令和９年度
  本格的な復興、協働の推進、安全安心なまちづくり
- **長期**（発展段階）：令和10年度～令和12年度
  本市が発展し、新たな魅力と活力ある羽咋市を作りあげる

©2026 Hakui City

（２）進捗評価の実施方法

復興実施計画では、成果指標が定められた事業を除き、総合計画のような数値目標がないことを踏まえ、下記のとおり進捗評価を実施します。

内部評価作成

（１）各事業の担当部署が、事業の実施状況及び成果や今後の進め方などをＰＤＣＡサイクルの考え方で作成し、主に進捗状況を踏まえて、事業ごとに評価を行う。

（２）成果指標（ＫＰＩ）の設定されている重点事業については、（１）に加え成果指標の達成状況を踏まえて、事業ごとの評価を行う。

復興本部会議

（３）復興本部会議での意見聴取を行い、意見を反映。

評価委員会

（４）評価委員による書面での事前評価を基に、評価委員会での評価・協議を行い、意見を反映。

ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ等

（５）評価委員会からの評価・意見を基に、中期以降の取り組みの実効性を高める。また、復興実施計画に新規事業追加や変更等の改定を実施。

©2026 Hakui City

事前評価の手順

1. **資料の確認**
   評価対象となる「短期」の進捗状況を確認
2. **成果指標事業の評価**
   入力シート１に事業ごとの評価を入力
3. **柱ごとの評価**
   入力シート２に柱ごとの評価を入力
4. **総括の入力**
   入力シート２に進捗状況の総括意見を入力

©2026 Hakui City

1　資料の確認について（1）

● 送付ファイルについて

ファイル名	内容等
01　「短期」進捗状況の事前評価について 	・事前評価にあたっての資料の見方や評価方法等の説明資料
02　入力シート１（成果指標事業） 	・参考資料１のうち、成果指標事業に関する担当部署の「短期」分の内部評価等に対する委員評価を入力するシート **※評価委員が、評価・所見を入力・提出**
03　入力シート２（柱及び総括） 	・「柱ごと」及び「総括」の委員評価を入力するシート **※評価委員が、評価・所見を入力・提出**
04　参考資料１：復興実施計画「短期」の進捗状況（一覧表） 	・復興実施計画の記載事業について、担当部署が「短期」分の内部評価及び各柱ごとのまとめ（※再掲分は重複するため除く） うち、成果指標事業については、入力シート１に詳細を記載
05　参考資料２：羽咋市復興実施計画（改定案） 	・復興実施計画の「実施事業」について変更や追加等を行う改定案 ・改定内容については、一覧を記載するほか、改定分を赤字表記

©2026 Hakui City

1　資料の確認について（２）

- 参考資料１は、復興実施計画記載事業の「短期」の進捗状況一覧です。

  入力シート１は記載事業のうち「成果指標事業」分を個別評価用にとりまとめたものです。

担当部署による内部評価基準		数値目標に対して
◎	計画以上に進捗した。予定以上の取り組み成果が得られた。	目標の100%超
○	計画どおりに進捗した。予定した取り組み成果が得られた。	目標の80～100%
△	進捗に遅れがあった。予定した取り組み結果が得られなかった。	目標の80%未満

担当部署及び連携課

先頭が担当部署、それ以降が連携課です。名称変更や新設などにより変更があった場合、赤字表記しています。

ＰＤＣＡ欄

事業概要と取り組み・実績・今後の進め方等です。期間延長や拡充などにより変更があった場合、赤字表記しています。

タイムライン

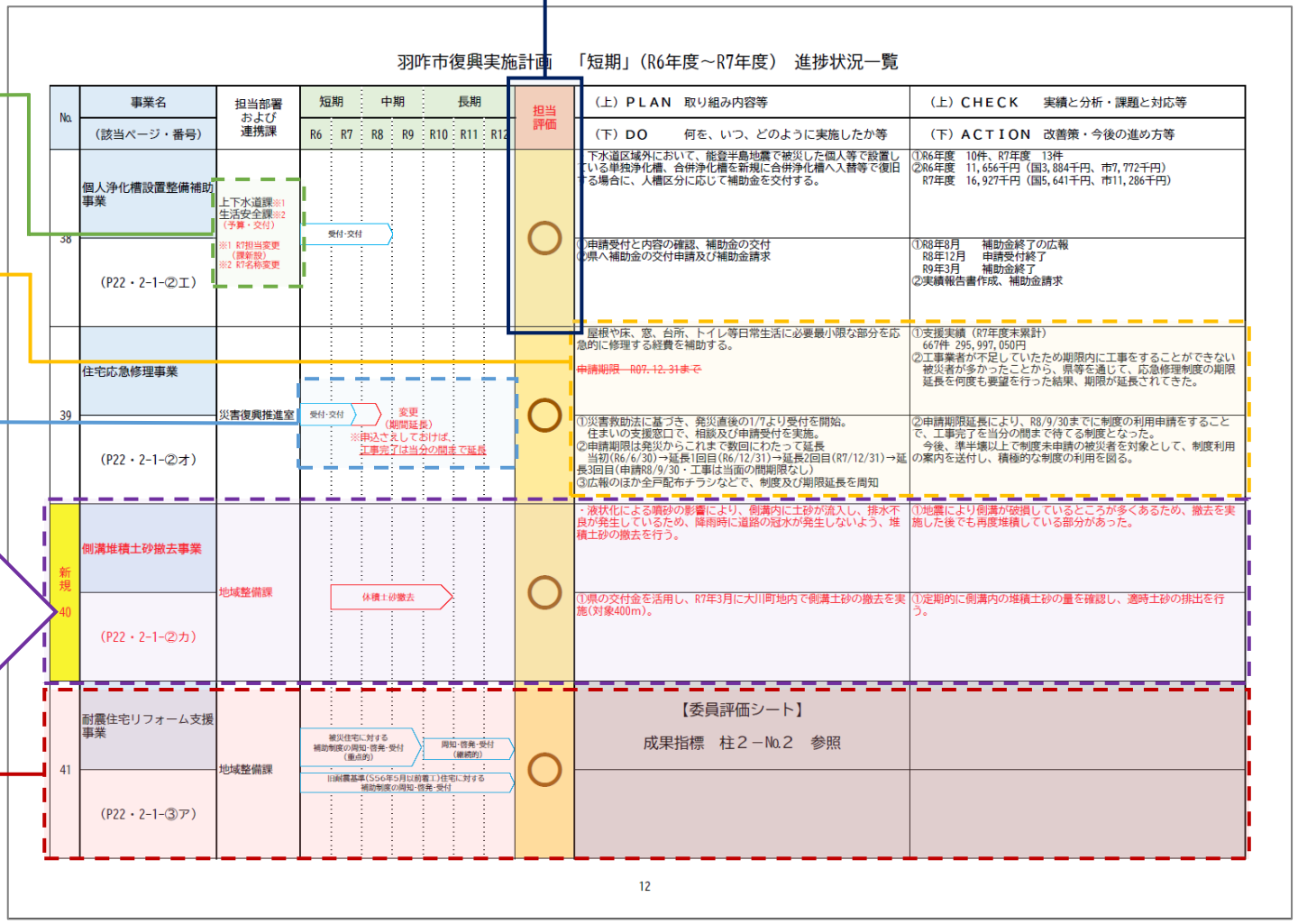
計画期間内の事業タイムラインです。期間延長などにより変更があった場合、赤字表記しています。

No.欄が黄色は新規追加事業

成果指標事業

成果指標事業は、入力シート１「成果指標事業」に別途記載してあります。詳細はそちらをご覧ください。

※変更・追加・削除箇所は「赤字」表記



©2026 Hakui City

2　成果指標事業の評価について

- 成果指標事業の評価では、入力シート1の担当評価等を基に、「入力シート１」（成果指標事業）に入力してください。
- 入力項目　①委員評価欄
  ②評価委員用所見入力欄
- 評価対象　成果指標事業２２件の評価

担当部署による内部評価基準		数値目標に対して
◎	計画以上に進捗した。予定以上の取り組み成果が得られた。	目標の100%超
○	計画どおりに進捗した。予定した取り組み成果が得られた。	目標の80～100%
△	進捗に遅れがあった。予定した取り組み結果が得られなかった。	目標の80%未満

①委員評価欄

担当部署による内部評価を基に、委員評価を下記から選択して下さい。

評価	
S	計画以上の優れた成果を上げている
A	概ね計画どおりの成果である
B	更なる取り組みの推進が必要である
C	見直しが必要である
その他	評価・意見を他の委員に一任する※

※ 自分では評価が難しい等の場合に選択

②評価委員用所見入力欄

事業等に対する意見や「委員評価欄」の評価理由、疑問点などがありましたら、この欄に入力してください。



3 柱ごとの評価について

- 柱ごとの評価では、参考資料１を基に、「入力シート２」（５つの柱）に入力してください。
- 入力項目　①委員評価欄
  ②評価委員用所見入力欄
- 評価対象　実施計画に定める５つの柱ごとの評価

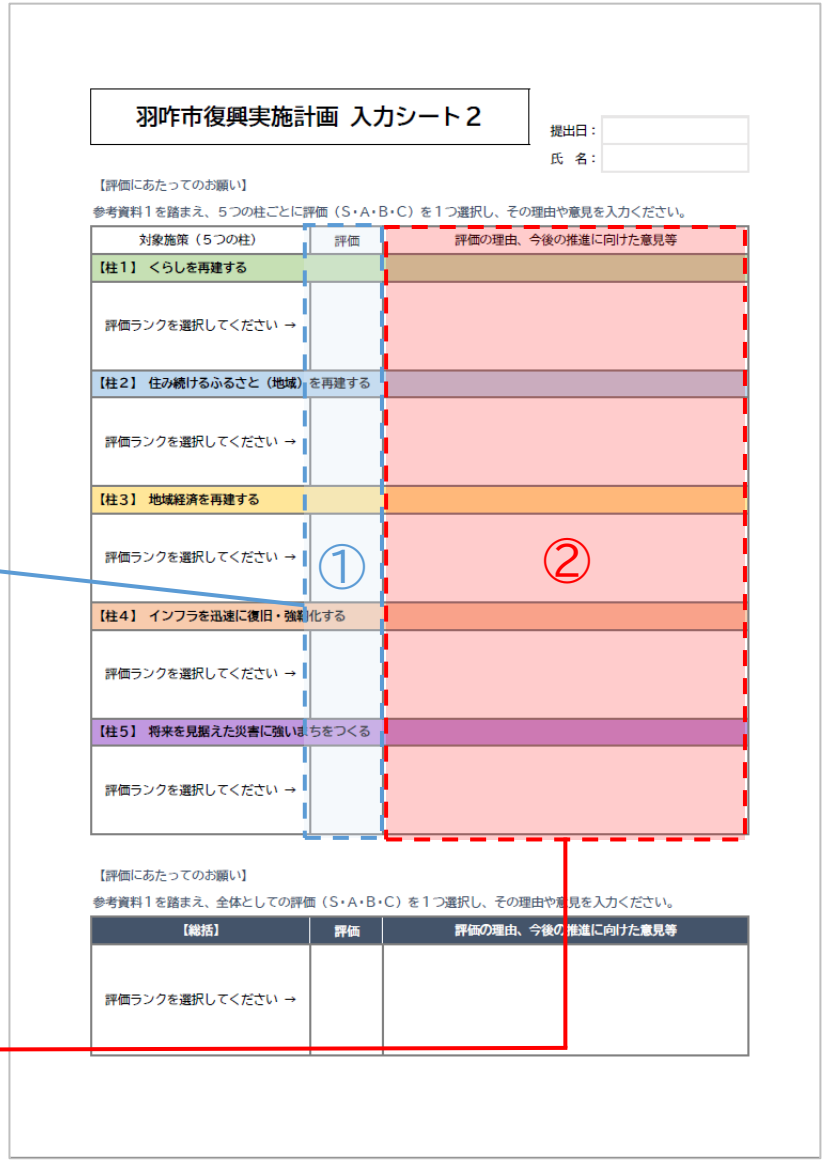
①委員評価欄

担当部署による内部評価のとりまとめ結果を基に、委員評価を下記から選択して下さい。

評価		状態の目安
S	大いに評価できる	計画を上回る成果、または極めて優れた効果を上げている。
A	評価できる	概ね計画どおりに進捗し、着実な成果を上げている。
B	やや不十分である	計画よりやや遅れ、または取り組みの強化が必要である。
C	不十分である	計画の大幅な遅れ、または抜本的な見直しが必要である。

②評価委員用所見入力欄

柱ごとの意見や「委員評価欄」の評価理由、今後の推進に向けたご意見などがありましたら、この欄に入力してください。



©2026 Hakui City

4 総括の入力について

- 進捗状況に対する全体をとおしての評価を、「入力シート２」（総括）に入力してください。
- 入力項目　①総括意見入力欄
- 評価対象　復興実施計画「短期」の進捗状況に対する全体をとおしての評価

①委員評価欄

復興実施計画「短期」の進捗状況に対する全体をとおしての委員評価を下記から選択して下さい。

評価		状態の目安
S	大いに評価できる	計画を上回る成果、または極めて優れた効果を上げている。
A	評価できる	概ね計画どおりに進捗し、着実な成果を上げている。
B	やや不十分である	計画よりやや遅れ、または取り組みの強化が必要である。
C	不十分である	計画の大幅な遅れ、または抜本的な見直しが必要である。

①評価委員用所見入力欄（総括）

復興実施計画の進捗状況に対する全体をとおしての評価の理由や意見等を入力してください。


羽咋市復興実施計画　入力シート２

提出日：
氏　名：

【評価にあたってのお願い】
参考資料１を踏まえ、５つの柱ごとに評価（S・A・B・C）を１つ選択し、その理由や意見を入力ください。

対象施策（５つの柱）	評価	評価の理由、今後の推進に向けた意見等
【柱１】 くらしを再建する		
評価ランクを選択してください →		
【柱２】 住み続けるふるさと（地域）を再建する		
評価ランクを選択してください →		
【柱３】 地域経済を再建する		
評価ランクを選択してください →		
【柱４】 インフラを迅速に復旧・強靭化する		
評価ランクを選択してください →		
【柱５】 将来を見据えた災害に強いまちをつくる		
評価ランクを選択してください →		

【評価にあたってのお願い】
参考資料１を踏まえ、全体としての評価（S・A・B・C）を１つ選択し、その理由や意見を入力ください。

【総括】	評価	評価の理由、今後の推進に向けた意見等
評価ランクを選択してください →	①	②

©2026 Hakui City

5　復興実施計画の改定について

● 参考資料２は「羽咋市復興実施計画」の改定案です。

羽咋市復興計画

震災を乗り越え、羽咋市を将来にわたって住み続けたいまちとするため、「未来につながる復興」を基本方針とし、それぞれ「５つの柱」ごとに目標とそれに関する主な取り組み・施策を総合的、体系的に「計画」としてとりまとめたものです。

羽咋市復興実施計画

「羽咋市復興計画」に掲げた「未来につながる復興」の実現に向けて、本市が直接実施、又は補助、支援する施策、事業等を具体的に示すものです。

計画に記載している事業は、計画策定段階で想定したものであり、社会情勢の変化や復興の状況等も踏まえ、必要に応じて弾力的に所要の見直しを行っていくものです。

■主な改定内容

（１）新規事業を追加　5件
（２）掲載事業のタイムライン変更　28件 ＋ 再掲分　4件
（３）　〃　制度拡充　2件
（４）　〃　事業統合　1件
（５）　〃　名称変更　2件
（６）事業担当部署の変更
　・課（室）の新設
　・担当部署の名称変更
（７）各柱ごとの成果指標事業に「短期」の達成状況を追加



羽咋市復興実施計画（改定案）　参考資料２

変更箇所一覧

柱１　くらしを再建する

変更項目	変更内容	理由
タイムライン	1-①ア　被災者支援窓口運営事業 ・窓口重点運用期間を１年延長	一定のニーズがあり、被災者支援窓口の運用期間を延長したため
	2-①ア　応急仮設住宅供与事業 ・供与期間を1年延長	国県の協議により、建設・賃貸それぞれ供与期間が1年延長となったため
	2-①イ　応急仮設維持管理事業 ・事業期間を1年延長	建設型応急仮設住宅の供与期間1年延長に合わせて期間延長
	2-①エ　生活家電給与事業 ・申請期限を8年度まで延長	建設型応急仮設住宅の入居受付期間の延長に伴い、申請期限を延長
タイムライン 制度拡充	2-②イ　被災者生活再建支援事業 ・基礎支援金の受付期限を延長 ・住まいの再建支援制度を拡充	国基礎支援金の期限延長に合わせて延長 県制度追加に合わせて支援拡充
タイムライン	2-②ウ　応急仮設住宅移転費用支援事業 ・期間を8年度まで延長	応急仮設住宅の供与期間延長に合わせて延長
	3-②イ　被災者の見守り対策強化事業 ・事業期間を1年延長	応急仮設住宅の供与期間延長に合わせて延長
	3-④ア　一般介護予防事業、健康教育・健康増進事業 ・事業期間を1年延長	応急仮設住宅の供与期間延長に合わせて延長
	5-①ア　災害義援金給付事業 ・申請期限を8年7月末に変更	被災者生活再建支援金基礎支援金の申請期限に合わせて変更

柱２　住み続けるふるさと（地域）を再生する

変更項目	変更内容	理由
タイムライン	1-①イ　住まい再建支援事業 ・重点運用期間を1年延長	一定のニーズがあり支援窓口運用に合わせ1年延長
事業名称変更	1-②ア　道路と宅地等との一体的な被状化対策事業 ・事業名から（仮称）を削除	事業名決定により（仮称）を削除
タイムライン	1-②ア　住宅応急修理制度 ・申請期限を延長（8年9月末まで）	国県の協議により申請期限を延長したため
新規追加	1-②カ　倒壊危険土砂撤去事業 ・事業新規追加	県の創造的復興支援交付金を活用し事業を新設
タイムライン	2-①ア　災害公営住宅整備事業 ・早期入居に向け一部前倒し	8年10月からの入居開始に向けて、スケジュールを前倒したため
制度拡充	2-①イ　新規宅地開発支援事業 ・制度内容を拡充	公費解体又は自費解体用地を含む宅地開発補助を拡充



変更・追加箇所は赤字表記

羽咋市復興実施計画
（改定案）

令和８年　月

羽　咋　市

6 提出について

1 提出期限

令和８年７月３１日（金）

2 提出方法

（１）Ｅメールの場合

入力したEXCELシートを下記のメールアドレスまで送信してください。
送信の際は件名に「復興実施計画事前評価（委員名称）」を記載してください。

提出先メールアドレス　：　fukko@city.hakui.lg.jp

（２）羽咋市ホームページからの電子申請の場合（※EXCELの提出は不要です）

下記のホームページから、直接評価を入力してください。
羽咋市ホームページ　→　電子申請サービス　→　オンライン申請手続き
（見当たらない場合はキーワード検索で「復興」を検索）



https://apply.e-tumo.jp/city-hakui-ishikawa-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=1061&accessFrom=

※上記のURLは資料送信した際のメールアドレスにも記載してあります。
　そちらのリンクからアクセス・入力できます。

©2026 Hakui City